

2025年1月21日

視覚障害者信号機横断プロジェクト
株式会社アクセスムーブコンフォート
株式会社Ashirase
錦城護謨株式会社
株式会社コンピュータサイエンス研究所
有限会社テイクス
株式会社プライムアシスタンス
リンクス株式会社
株式会社よむべえ
東京都市大学 都市工学科 稲垣研究室

視覚障害者の街歩きを支援するワクワクプロジェクトを開催！

視覚障害者の外出支援をサービス提供する企業8社（協力企業・参照）と東京都市大学都市工学科稲垣研究室及び視覚障害者信号機横断プロジェクトは、三井不動産株式会社と共同で視覚障害者の単独歩行や情報収集を複数の支援技術を使って評価する実証実験を、来る2月1日・2日に東京都中央区日本橋室町エリアで実施します。

視覚障害者は白杖や盲導犬を利用して外出しますが、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）や音の出る信号機などが十分に整備されていない場所があるため、単独歩行をあきらめ、家族やガイドヘルパーと同行しなければ外出が困難な状況です。

「視覚障害者がワクワクする移動の自由実現を目指したプロジェクト」（通称ワクワクプロジェクト）は、視覚障害者の街歩きの課題を最新デジタル技術やサービスを活用することで、視覚障害者がもっと気軽に楽しくワクワク外出できる環境整備の後押しを目的として活動を行っています。

両日の評価は、日本橋室町エリアにおいて、誰でもトイレ・エレベーター・地下街歩行・買い物・歩道歩行・お弁当購入・信号交差点の横断歩行などの視覚障害者の単独での利用や歩行が困難な場所で、参加企業の支援技術や支援サービスの評価を行い、有用性、改善点などを実験参加企業各社と共有し、更なる技術の向上を目指します。
本プロジェクトでは、視覚障害者を含む誰もが気軽に自宅を出て、交通機関等を使い、ショッピングや食事を楽しみ、安全に自宅まで帰ることが当たり前に行えるよう今後も各企業との協力・連携を行い、インクルーシブなまちづくりに貢献する所存です。

当プレスリリースのお問合せ先：

錦城護謨株式会社 バリアフリー推進課 小山
072-992-2328
info_bf@kinjogomu.jp

視覚障害者信号機横断プロジェクト 担当：佐々木・谷田
info@singo-pj.com

イベント概要

- ・名称：視覚障害者がワクワクする移動の自由実現を目指したプロジェクト
- ・実施日時：2月1日・2日 両日9：25～12：30
- ・評価場所：日本橋室町エリア・コレド室町
- ・主催者：視覚障害者信号機横断プロジェクト
- ・協力企業・大学

場所提供：三井不動産（日本橋室町三井タワー・コレド室町などの場所提供）

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/>

歩行支援：株式会社コンピュータサイエンス研究所・株式会社Ashirase・株式会社よむべえ

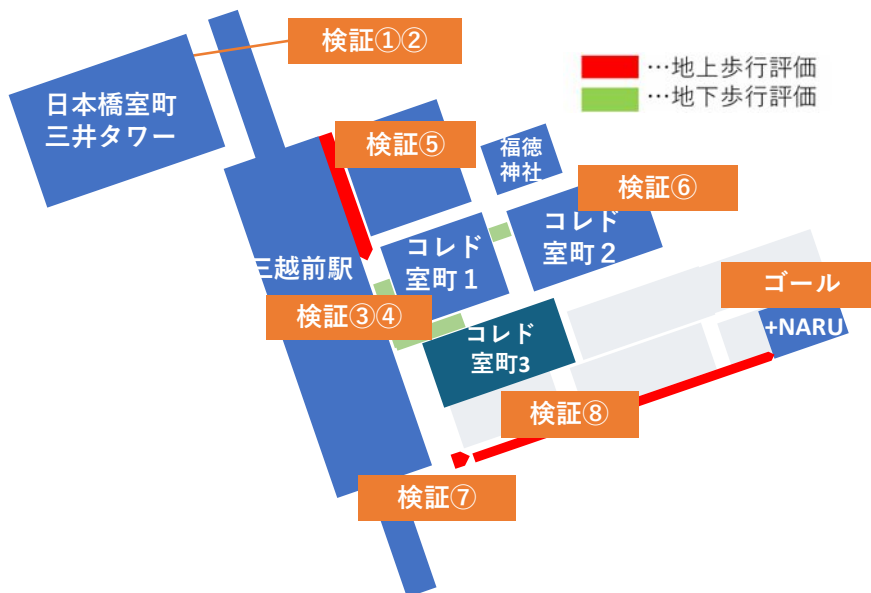
情報提供支援：株式会社アクセスムーブコンフォート・リンクス株式会社

遠隔支援：株式会社プライムアシスタンス

誘導支援：有限会社テイクス・錦城護謨株式会社

東京都市大学 都市工学科 稲垣研究室

検証コース：点字ブロックのない歩道、看板など障害物のある道路、店舗内など、8つのポイントで検証を行います。各ポイントで歩行支援アプリや情報提供アプリを使用・評価することで今後のさらなる機能改善と安全かつ自然な街歩きの実現を目指します。



<各ポイントにおける検証内容>

- ①日本橋室町三井タワー：誰でもトイレの誘導
- ②日本橋室町三井タワー：エレベータの乗降
- ③日本橋案内所：点字ブロックのない場所の誘導
- ④日本橋案内所：ウィンドウショッピング
- ⑤YUITO前：点字ブロック、ガードレールのない幅の広い歩道の歩行
- ⑥コレド室町2地下：お弁当購入・ウィンドウショッピング
- ⑦横断歩道：信号交差点の横断歩行
- ⑧むろまち小路：障害物のある道の歩行

『ワクワクプロジェクト』に参加する企業、ツールのご紹介

■視覚障害者信号機横断プロジェクト

視覚障害者信号機横断プロジェクトは、見えない・見えにくい人の移動や信号横断を安心・安全に行えるよう、支援企業と連携し社会実装を目指す視覚障害者による運動団体。2020年7月から活動を開始し、月一度のオンラインサロンでは全国から多くの視覚障害者と、その支援者である企業の製品開発者、歩行訓練士、眼科医、大学教授などが幅広く参加し、それぞれの立場から意見交換、情報交換を行う場の提供を行っている。また、信号機メーカー等と連携し、各社との実験にも事務局として参画している。 <https://www.singo-pj.com>

■歩行支援系アプリ



・アイナビ (株式会社コンピュータサイエンス研究所) : 検証ポイント⑤⑦⑧
iPhoneひとつで道案内と障害物検出、歩行レコーダー機能を備えた歩行支援アプリ。目的地までの方向や経路、周辺施設、進路上の障害物、歩行者信号の色、点字ブロック等をAIで検出して音声で知らせる。 <https://www.eyenavi.jp/>



・アシラセ (株式会社 Ashirase) : 検証ポイント⑤⑦⑧
左右の靴に振動デバイスを装着し、スマホと靴の加速度センサーを使い、ユーザーの位置や進行方向を高精度に計測しつつ、スマホのナビ情報を音声や靴に装着した振動で歩行者の歩行を支援・誘導する。 <https://www.corporate.ashirase.com/aboutus>



・ナビレク (株式会社 よむべえ) : 検証ポイント⑤⑦⑧
スマホのGPS追跡を使い、曲がり角や横断歩道を振動や音でお知らせ。「右へ曲がり50mほど直進します」「駅を背にして左に進みます」など事前に用意した道案内テキストを読み上げる。 <https://www.amedia.co.jp/product-item/smartphone/app/navirec/>

■情報提供系アプリ



・NaviLens (設置: 株式会社 アクセスマーブコンフォート) : 検証ポイント①②
ナビレンスコードにスマホカメラをかざすと、その場所の情報を読み上げてくれる。A4サイズの場合、約16m離れたコードを読み取り可能で、フォーカス不要。読み取ったコードからの距離と角度を認知。37言語自動翻訳。 <https://www.navilens.com/ja/>



・shikAI (リンクス株式会社) : 検証ポイント①②
スマホカメラでトイレ前の警告ブロックに設置したQRコードを読み取ると、トイレのドアや便器の位置などの情報を音声で提供する。 <https://www.linkx.dev/shikai>

■遠隔支援系アプリ



・アイコサポート (株式会社プライムアシスタンス) : 検証ポイント③④⑥
遠隔のコールセンターの専門オペレーターが利用者のスマホから連携されたカメラ映像や位置情報を確認しながら、お買い物、書類の読み上げ、目的地までの移動など様々な場面でサポートする。 <https://eyecosupport.prime-as.co.jp/>

■誘導シート



・パームライン (有限会社テイクス) : 検証ポイント①
視覚障害者のトイレ内での移動を支援する誘導板。点字ブロックがないところで歩行支援に使われる <https://palmsonar.com/>



・歩導くん ガイドウェイ (錦城護謄株式会社) : 検証ポイント①②③
視覚障害者歩行誘導マット「歩導くんガイドウェイ」 ※仮設利用も可能
視覚障害者用トイレ誘導ライン「ガイドレット」
視覚障害者歩行テープ「ココテープ」 ※基本仮設利用
一般人の歩行や車いす、ベビーカートの通行の支障になりにくいユニバーサルデザインの視覚障害者歩行サポート製品。屋内において、点字ブロックが無くて困っている、または設置しにくい場所などに追加での設置対応が容易。
<https://www.kinjogomu.jp/welfare/>